

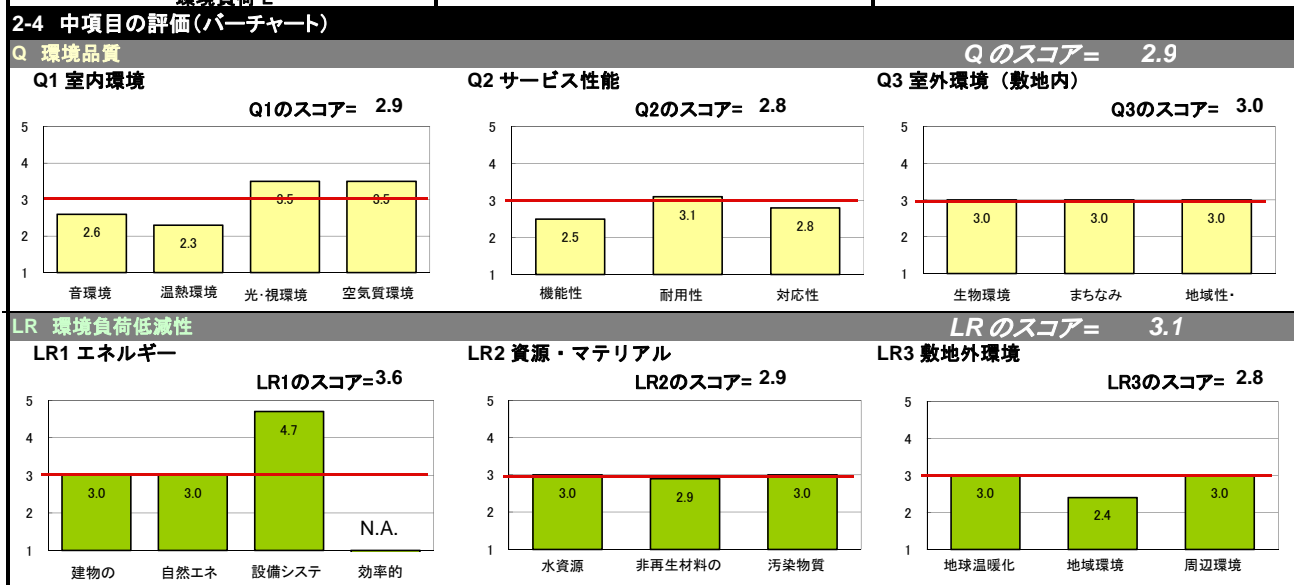
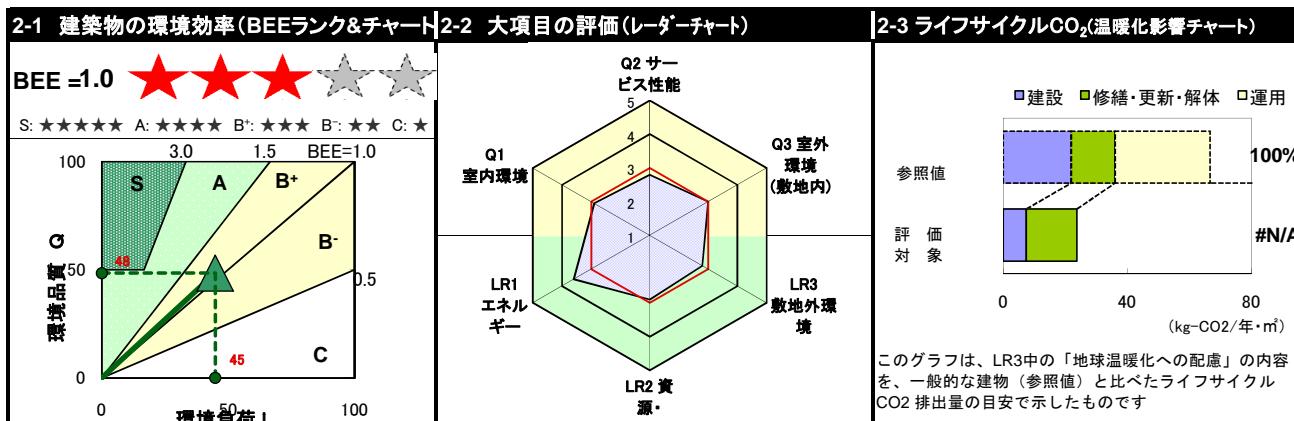


# 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都山科マンション	階数	地上7F	
建設地	京都府京都市山科区竹鼻堂ノ前町	構造	RC造	
用途地域	第1種中高層住専、第2種中高層住	平均居住人員	0 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0 時間/年	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2010年6月 予定	評価の実施日	2009年5月18日	
敷地面積	2,189 m <sup>2</sup>	作成者	松田好広	
建築面積	1,120 m <sup>2</sup>	確認日	2009年5月18日	
延床面積	4,959 m <sup>2</sup>	確認者	松田好広	



3 設計上の配慮事項			その他
<b>総合</b> 周辺の環境から突出することなく、街並みになじみ長く親しまれていくように計画するとともに、住人が長く快適に暮らせるように、外部環境と調和できる生活が可能となるように配慮しています。			注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b> 大きな開口部を設け、明るく開放的な室内環境を計画しています。	<b>Q2 サービス性能</b> 経年変化に対応できるように、耐久性の高い材料で外壁を構成しています。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 街並みにとけ込むように、落ち着いた外観とし要所に緑を設けた室外環境を計画しています。	
<b>LR1 エネルギー</b> 住宅性能評価で等級3を取得する計画としています。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 資源については一般的なレベルを維持できるように計画しています。	<b>LR3 敷地外環境</b> 住棟計画において敷地外に不意に外を及ぼさないように配慮しています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される